

第2回 北海道型作業システムモデル路網整備計画検討委員会 (概要)

第2回北海道型作業システムモデル路網整備計画検討委員会の会議においては、前日の現地踏査結果を踏まえ活発な意見交換が行われました。主な意見は3のとおりです。

1 日時

平成24年8月29日 13:00～16:30 (現地)

平成24年8月30日 9:00～12:00 (会議)

2 会場

十勝東部森林管理署 1022林班 (現地)

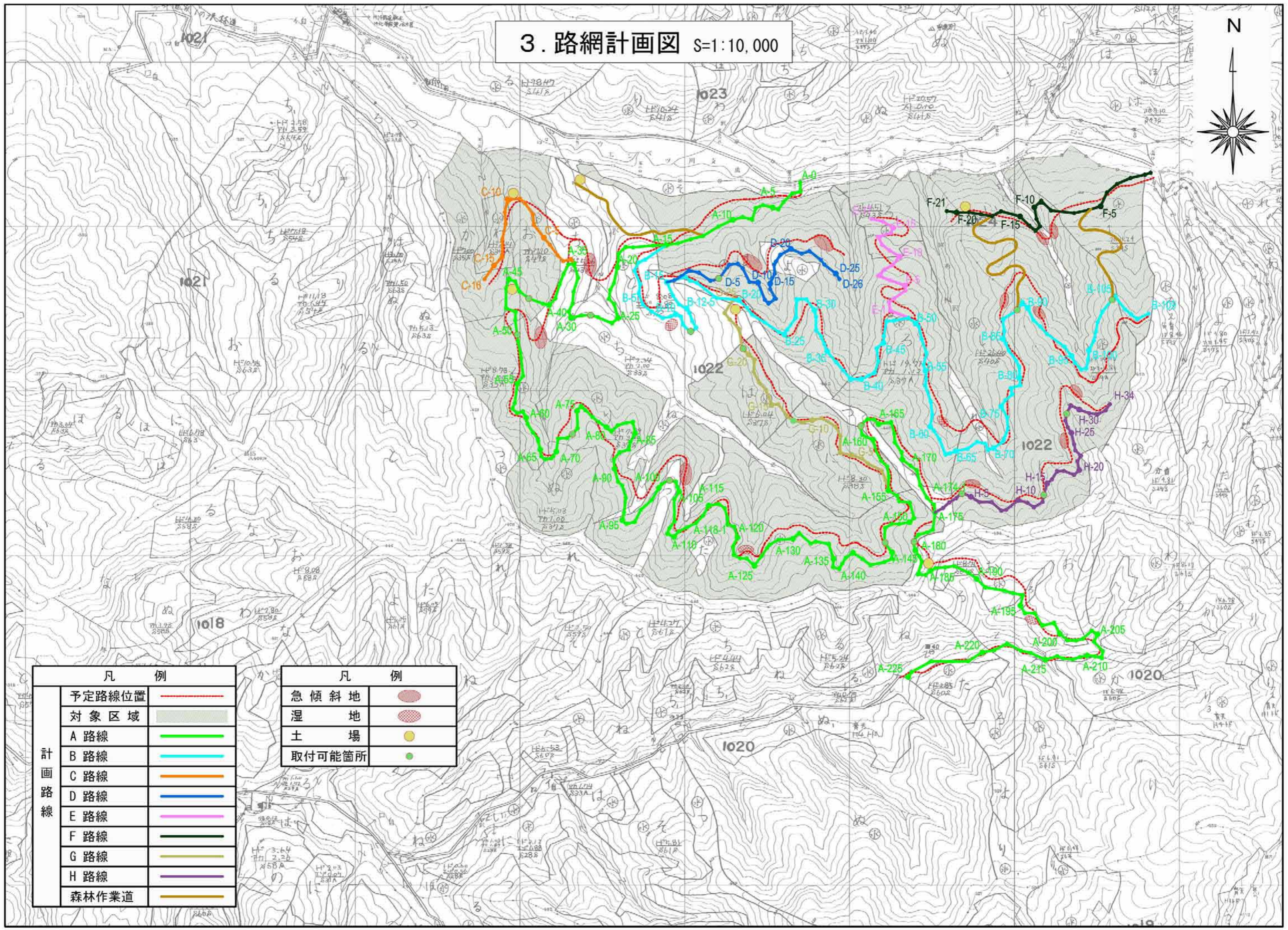
帯広市保健福祉センター 2階 多目的ホール (会議)

3 主な意見

- 林業専用道を作設することが目的ではなく、想定される作業システムで効率よく林業を実施できる路線となることが重要なポイントであり、この点を踏まえて検討したい。
- 想定ルートD上の数箇所において湿地が確認されており、ルート設定に当たっては、十分注意する必要がある。
- 想定ルートFの沢渡り箇所では深い沢となっているところもあることから、切土量に十分注意して沢渡り箇所を上下させるなどの検討も必要である。
- 間伐等の施業を行う上では濁水を発生させないことが重要なポイントであり、地形等によっては想定ルートFのような沢渡りの林業専用道の作設は控え、作業方法によって対応すべきである。状況に応じて沢の手前で止めるべきではないか。
- 想定ルートC及びEのように狭い斜面に高密度に林業専用道を配置するのは森林の保全、施業上の必要性から疑問。作業システムを考慮し、必要性の無いと思われる路線については再検討する必要がある。

※想定ルート名については「路網計画図」を参照

3. 路網計画図 S=1:10,000



凡 例	
予定路線位置	
対象区域	
A 路線	
B 路線	
C 路線	
D 路線	
E 路線	
F 路線	
G 路線	
H 路線	
森林作業道	

凡 例	
急傾斜地	
湿地	
土場	
取付可能箇所	